

## 22 病院・診療所

【関連章第7章5】

### 事例2 「病院の手術準備室から出火した火災」

**出火時分** 8月 13時ごろ  
**用途等** 病院 耐火造 21/4 延 68,000 m<sup>2</sup>  
**防火管理** 該当選任あり 消防計画あり  
**被害状況** 建物ぼや1棟 ガーゼ等焼損  
**概要**

この火災は、病院の手術準備室の高圧蒸気滅菌機から出火したものです。

出火原因は、高圧蒸気滅菌機の滅菌庫内ヒータ用サーモスタットの接点が溶着したことによりヒータが加熱され続け、庫内温度が上昇し続けたため滅菌中のガーゼ等が出火したものです。

病院に勤務する看護師は同僚から「焦げた臭いがする」と言われ、2人で手術準備室に確認しに行くと、高圧蒸気滅菌機から煙が出ているのを発見しました。病院勤務の設備職員は、看護師から火災があったことを伝えられ、燃えたガーゼ等を確認し119番通報しました。119番通報後、病院勤務の設備職員はガーゼ等を流し台に持っていき、水道水をかけ初期消火しました。

#### 教訓等

この火災は、ヒータが過熱した際に電源を遮断するサーモスタットの接点が故障したため発生しています。

電気機器は、通常に使用ができていても、内部で故障している場合があります。そのまま使用し続けることで出火することがあります。電気機器の故障による火災を防ぐためには、定期的に点検を行い、少しでも異変を感じた場合は使用を中止し、製造会社等に点検を依頼するなど、火災を未然に防ぐことが重要です。

また、診療所や病院等では入院患者等の歩行困難な方もいるため、火災が発生すると甚大な被害が生じるおそれがあります。勤務する職員の方は、このことを念頭に置き、電気製品を適切に取り扱うようにしましょう。



写真 22-3 高圧蒸気滅菌機の焼損状況



写真 22-4 ガーゼ等の焼損状況